

関口江利子

せきぐち・えりこ

<https://sekiguchi.seikatsusha.me>

生活者せたがや臨時号 2020年11月20日

発行:世田谷・生活者ネットワーク 発行責任者:山木きょう子 〒154-0017 世田谷区世田谷1-16-16 安藤ビル301
TEL.03-3420-0737 FAX.03-3706-1744 E-mail setagaya@seikatsusha.net <https://setagaya.seikatsusha.me>



いまこそ東京を生活のまちに 必要なのは住まいと職、医療・介護・教育の充実です

東京・生活者ネットワークは
2021年夏の
都議会議員選挙に

せきぐちえりこ
関口江利子の
擁立を決定しました

東京・生活者ネットワークは
41人の女性議員をもつ
地域政党(ローカルパーティ)です

生活者ネットワークの3つのルール

ルール 1

議員は最長3期12年でローテーションします。議員を職業化せず誰でもが議員になることで、議員を特権化しません。

ルール 2

議員報酬は市民の政治活動資金に生かし、お金の流れは公開します。

ルール 3

選挙は市民のカンパとボランティアの手づくりです。

エネルギー、地球環境、資源、人権……すべてのことは、暮らしの中で繋がっています。どんな人でも一人で生きていけないのは当たり前、だれでも当たり前に関わり合え、自立と尊厳が守られ、すべての人が能力を発揮して活躍できる社会に変えていきたいです。

小学校で公害問題を学んでから、地球環境を守ることに興味を持ちました。祖父・祖母・父が原爆被爆者であることから、戦争と核を取り巻く情報操作の問題に関心を持ち、大学で情報論を学ぶことができました。原子力を利用した発電への疑問は今も最大のテーマです。

原爆症で早世した祖母に寄り添いたくて、高齢者への自立支援ボランティアに従事しました。介護士の資格を取り、障がい児や精神疾患者のケアを行う中で、さらに社会への問題意識を持つようになりました。

生活と政治をもっと近づけるために、市民の声を発信していきます。

せきぐちえりこ 関口江利子

プロフィール

■1974年 広島県呉市生まれ(46歳) ■1993年 安田女子高等学校 卒業 ■1998年 成安造形大学 情報デザイン学部映像学科 卒業 ■1999年 設計デザイン事務所(株)SDで、「愛・地球博」の国際連合パビリオン(国連館)、企業歴史館、展示施設など多数担当 ■2011年 生活クラブ生協加入 ■2013年 コープこうべ高齢者等自立支援「くらしの助け合いの会」で活動 ■2016年 生活クラブ生協都市生活 理事 ■2018年 世田谷区社会福祉事業団ホームヘルプサービスで活動 ■2019年 23区南生活クラブ生協 理事 ■2020年 世田谷・生活者ネットワーク 都政担当政策委員
●家族:夫・娘、柴犬・金魚 ●上用賀4丁目在住
●小学校PTAバレーボール部在籍



重度障がい児の在宅レスパイトの充実を！



都政と区政をつなぎ、暮らしの不安を安心に変えたいと語る関口江利子。左は、前都議の西崎光子

NICU（新生児集中治療室）に長期入院している乳幼児の多くは、呼吸管理等の医療的ケアが必要なため、退院後の在宅療養は家族にとって大きな負担です。重度障がい児でも子どもの世話は育児の一環という考え方が根深く残っており、家族、特に母親が負担を負っている状況です。これまで、訪問

看護ステーションや地域の医療機関との連携、在宅レスパイトなどの事業が取り組まれてきました。特に在宅レスパイト事業は、重度障がい児（者）の自宅に訪問看護師が向向き、人工呼吸器の管理などを家族に代わって行うもので、家族の一時休息やリフレッシュを図るサービスです。

コロナ禍により家族介護や家事の負担が増す中、住み慣れた地域で安心して生活が送れるよう、自治体の柔軟な対応を求めています。

水道水を飲んでペットボトルを減らそう！

プラスチックの海洋汚染に対応する取り組みが世界規模で始まっています。プラスチックごみ削減は国際的な課題となっており、生活者ネットワークは、容器包装リサイクル法を見直し拡大生産者責任を強化するよう、長年提案してきました。

東京都には、レジ袋ゼロを宣言することや都庁内のコンビニや食堂、売店などで使い捨てプラスチックの使用禁止、会議の際にペットボトル飲料の提供をやめるマイボトル推奨キャンペーンや都内各所に水飲み場を設置するよう要望。提案を受けて都は、東京水をマイボトルに入れて持ち歩けるよう「Tokyowater Drink Station」を、都内900カ所に設置しました。

また、世田谷区でもマイボトルに給水ができる浄水器が2カ所試行的に設置されています。レジ袋の有料化が7月から始まりましたが、事業者、行政、区民が、プラスチックごみの削減に向けた取り組みを進めていくことが、環境問題の解決の一步です。



世田谷区の給水スポットで。左は東京水の給水塔

関口江利子さんとともに活動しています



2021年夏の都議会議員選挙にチャレンジする関口江利子さんを囲んで。左から、世田谷・生活者ネットワーク区議会議長の田中みち子、前都議会議員の西崎光子、区議会議員の金井アサ子、高岡じゅん子

都議会 生活者ネットワークは実現しました

都政担当政策委員

関口江利子

- 子ども食堂や誰もが集えるインクルーシブな地域の居場所づくり
- 福祉避難所への看護師などの人的支援
- 障がい者差別解消条例成立
- 犯罪被害者支援条例成立
- 性犯罪被害者への24時間対応支援
- 人権条例(SOGI、ヘイトスピーチ)成立
- 子どもの虐待防止条例成立
- 性教育の手引改訂
- やさしい日本語の活用
- トイレの洋式化、女子トイレ・だれでもトイレの増設
- 2050年CO₂実質ゼロのゼロエミッション東京戦略策定(気候危機行動宣言)、都庁版RE100
- 農地の買い取り予算確保
- 再エネ導入のための補助を拡大
- 庁内会議でのペットボトル禁止、マイボトル推奨と水飲み栓設置
- ブロック塀の生け垣化への補助
- 河川から海に流出するプラスチック、マイクロプラスチックのモニタリング調査
- 液体ミルクの防災備蓄
- 紙おむつリサイクルの研究支援

■みなさまのカンパを募集しています
ゆうちょ銀行 世田谷・生活者ネットワーク
記号) 00110-1-765709
店名) 108 普) 0765709